【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和6年5月23日(2024.5.23)

【公開番号】特開2024-14673(P2024-14673A)
【公開日】令和6年2月1日(2024.2.1)
【年通号数】公開公報(特許)2024-020
【出願番号】特願2022-204372(P2022-204372)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ５０/１４３(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/１５(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/１５７(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/２０９(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/２０４(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/２４９(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/１３３(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/２７１(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/１６４(２０２１.０１)
Ｈ０１Ｍ５０/３４２(２０２１.０１)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ ５０/１４３
Ｈ０１Ｍ ５０/１５
Ｈ０１Ｍ ５０/１５７
Ｈ０１Ｍ ５０/２０９
Ｈ０１Ｍ ５０/２０４４０１Ｅ
Ｈ０１Ｍ ５０/２４９
Ｈ０１Ｍ ５０/１３３
Ｈ０１Ｍ ５０/２７１　　Ｓ
Ｈ０１Ｍ ５０/２７１　　Ｂ
Ｈ０１Ｍ ５０/２７１　　Ｚ
Ｈ０１Ｍ ５０/１６４
Ｈ０１Ｍ ５０/３４２１０１

【誤訳訂正書】
【提出日】令和6年5月15日(2024.5.15)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
開口部を有するケースと、
前記ケース内に配置されたセルと、
前記ケースの開口部を覆うカバーと、を備え、
前記カバーは、
第１の孔が設置されたカバー本体と、
前記カバー本体の上面に配置され、　前記第１の孔の上部開口部を覆う耐熱性シートと、を備え、
前記耐熱性シートは脆弱部を有し、前記脆弱部の正射影の少なくとも一部が、前記カバ

ー本体に対して垂直な方向で前記第１の孔内に位置し、
前記第１の孔は保護フィルムによってさらに覆われ、前記耐熱性シートは前記保護フィルムを覆う、バッテリー。
【請求項２】
前記耐熱性シートの厚みは０．２ｍｍから１ｍｍであり、前記脆弱部の深さは前記耐熱性シートの厚みの１／４から３／４である、請求項１に記載のバッテリー。
【請求項３】
前記脆弱部は亀裂または複数の孔を備える、請求項１に記載のバッテリー。
【請求項４】
前記脆弱部は、複数の線状構造を備え、少なくとも２つの線状構造物が交差しているまたは延長線が交差している、請求項３に記載のバッテリー。
【請求項５】
前記耐熱性シートは、さらに、前記カバー本体に接続された本体部と、前記本体部を前記脆弱部から分離する遮蔽部と、を有し、前記遮蔽部の少なくとも一部は前記第１の孔の上方に位置し、前記耐熱性シートは前記カバー本体の長手方向に沿って延在する、請求項１乃至４のいずれか１項に記載のバッテリー。
【請求項６】
前記本体部には、第２の取付孔が設置され、前記遮蔽部は前記第２の取付孔を覆い、前記第２の取付孔は高さ方向において前記第１の孔と少なくとも一部が重複する、請求項５に記載のバッテリー。
【請求項７】
前記第２の取付孔は貫通孔であり、前記遮蔽部は前記本体部の上方に配置される、請求項６に記載のバッテリー。
【請求項８】
前記第２の取付孔は貫通孔であり、前記遮蔽部は前記第２の取付孔に埋め込まれている、請求項６に記載のバッテリー。
【請求項９】
前記遮蔽部は、前記第１の孔から離間する方向に突出する円弧状の片である、請求項５に記載のバッテリー。
【請求項１０】
前記カバー本体にはボスが設けられ、前記遮蔽部は前記ボスの上方に位置する、請求項５に記載のバッテリー。
【請求項１１】
前記遮蔽部と前記ボスとの間に前記保護フィルムが配置され、前記保護フィルムは前記ボスに接続され、前記保護フィルムの上面と前記遮蔽部の下面との間の距離は、０．０８ｍｍから０．１ｍｍである、請求項１０に記載のバッテリー。
【請求項１２】
前記遮蔽部の下面と前記ボスの上面との間の距離は、０．０９ｍｍから０．３ｍｍである、請求項１０に記載のバッテリー。
【請求項１３】
前記遮蔽部の厚さは０．２ｍｍから１ｍｍであり、前記遮蔽部の厚さは、前記本体部の厚さ以下である、請求項５に記載のバッテリー。
【請求項１４】
前記耐熱性シートはマイカシートまたはガラスシートである、請求項１に記載のバッテリー。
【請求項１５】
バッテリーの大表面に垂直な方向に沿って積層された複数のバッテリーを備えるバッテリーアセンブリであって、
各前記バッテリーは、
開口部を有するケースと、

前記ケース内に配置されたセルと、
前記ケースの開口部を覆うカバーと、を備え、
前記カバーは、
第１の孔が設置されたカバー本体と、
前記カバー本体の上面に配置され、前記第１の孔の上部開口部を覆う耐熱性シートと、を備え、
前記耐熱性シートは脆弱部を有し、前記脆弱部の正射影の少なくとも一部が、前記カバー本体に対して垂直な方向で第１の孔内に位置し、
前記第１の孔は保護フィルムによってさらに覆われ、前記耐熱性シートは前記保護フィルムを覆う、バッテリーアセンブリ。
【請求項１６】
前記バッテリーの前記耐熱性シートは一体構造として接続されるか、前記バッテリーの前記耐熱性シートは互いに分離される、請求項１５に記載のバッテリーアセンブリ。
【請求項１７】
前記耐熱性シートの厚みは０．２ｍｍから１ｍｍであり、前記脆弱部の深さは前記耐熱性シートの厚みの１／４から３／４である、請求項１５に記載のバッテリーアセンブリ。
【請求項１８】
前記脆弱部は亀裂または複数の孔を備える、請求項１５に記載のバッテリーアセンブリ。
【請求項１９】
前記耐熱性シートは、さらに、前記カバー本体に接続された本体部と、前記本体部を前記脆弱部から分離する遮蔽部と、を有し、前記遮蔽部の少なくとも一部は前記第１の孔の上方に位置し、前記耐熱性シートは前記カバー本体の長手方向に沿って延在する、請求項１５に記載のバッテリーアセンブリ。
【請求項２０】
請求項１に記載の電池を備える電子機器。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００５】
従来技術と比較して、本発明の実施形態は、バッテリーのカバー本体に耐熱性シートを備えるように構成され、耐熱性シートがカバー本体を覆い、第１の孔から他のバッテリーの高温物質が侵入することを防止できる。このようにして、１つのバッテリーで熱暴走が発生しても、他のバッテリーへの影響が回避され、連鎖的な熱暴走の発生が防止される。これにより、熱暴走拡散の確率が減少する。また、耐熱性シートの脆弱部は第１の孔の上方に位置し、特定の条件下で破断し得る。このように、バッテリー内部に外気と連通する流路が形成され、バッテリー内部に蓄積された高圧または高温を外部に排出することができる。耐熱性シート直下の防爆機構が正常に機能することが確保される。つまり、本発明のカバーを設けることにより、元の防爆機構の正常な作動を確保しつつ、熱暴走の連鎖拡散の可能性をさらに減らすことができる。したがって、バッテリー全体の爆発や発火の可能性を低減し、バッテリーの安全性を向上することができる。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
上記の課題を解決するために、添付の図面を参照して、本発明の具体的な実施形態を以

下に説明する。図２、図３、図５及び図６はバッテリーを示し、バッテリー１００は、カバー１と、上部開口部を有するケース２とを備える。カバー１は、ケース２の開口部２１に配置され、開口部２１を封止する。カバー１は、カバー本体１１と耐熱性シート１２とを備え、カバー本体１１の形状は、ケース２の開口部２１の形状と一致する。本実施形態では、ケース２が直方体の箱として図示されているので、カバー本体１１は適応的に細長い帯状に形成される。当業者は、バッテリーのケース２が他の形状に形成される場合、カバー本体１１の形状は、カバー本体１１がケース２の開口部２１を封止できる限り、他の形状に対応して形成することもできることを理解するべきである。ケース２とカバー１とで画定された封止空間には、複数のセル３が配置される。セル３は、ケース２内に密に配置され、互いに電気的に接続され、バッテリーの充放電アセンブリを共同で形成する。